

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援あいびい		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・グループに分けての療育	・発達段階に分け活動ができる。全体での活動もあり異年齢での交流もできる。 ・部屋が少ない分、パーティション等を活用。	・グループの更なる細分化(朝のお集まりを全体→グループ) ・保育園、幼稚園などとの交流。
2	・充実した職員配置	・児童数や発達状況により職員の配置を多くする。 ・保護者様からの相談などに対応できる。	・職員の質向上(研修) ・専門家からの意見
3	・長いサービス提供時間	・児童発達支援では数少ない6時間のサービス提供時間。 ・食事、着替え、昼寝等、子どもたちの身の自立に向けた取り組みが可能となっている。 ・保育園、幼稚園など送迎可能。	・グループの更なる細分化(朝のお集まりを全体→グループ) ・保育園、幼稚園などとの交流。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育園、幼稚園、地域の事業所との交流	・地域交流が少ない	・令和7年度地域行事参加予定 ・〇〇幼稚園との交流予定 ・保育園、幼稚園への見学
2	・事業所のマニュアルの全体への周知	・あいびい通信で6月周知したがそのあとの契約児童についてすべて周知できていなかった。	・契約時に伝える。検討中
3			